

厚生労働大臣杯争奪 第60回全日本実業柔道団体対抗大会実施要項

1. 日 時 平成 22 年 6 月 5 日(土) 9 時 00 分選手集合、9 時 30 分開会式、引続き試合開始
平成 22 年 6 月 6 日(日) 9 時 30 分試合開始、15 時 10 分大会終了予定
2. 場 所 東京武道館
〒120-0005 東京都足立区綾瀬 3-20- 1 TEL:03-5697-2111
3. 主 催 全日本実業柔道連盟
4. 主 管 東日本実業柔道連盟・(財)東京都柔道連盟・東京実業柔道連盟
5. 後 援 厚生労働省・(財)全日本柔道連盟・(財)講道館・読売新聞社・東京都(申請中)・(財)東京都体育協会・東京商工会議所・(財)東京都スポーツ文化事業団 東京武道館
6. 資 格 (1)参加チームは、全日本実業柔道連盟に加盟し年会費を納めた会員(会社)であること。
(2)参加チームは、会社及び事業所単位とし、各部ごと3チームまで参加を認める。
(3)参加選手は、(財)全日本柔道連盟に登録した者であり、全日本実業柔道連盟に加盟している会員(会社)に在籍し、選手登録をしている者であること。
7. 参加申込 所定の申込用紙に必要事項を記入し、東日本実業柔道連盟に申込みをすること。
(1)申込期日：平成 22 年 4 月 20 日(火)必着
(2)申 込 先：〒107-8511 東京都港区元赤坂 1-6-6 総合警備保障(株)内
東日本実業柔道連盟事務局 TEL:03-3402-7528 FAX:03-3402-7538
Eメールアドレス：higashijudo-j@alsok.co.jp
8. 参加料 男子の部(各部共通)は 30,000 円/1 チーム、
女子の部は第 1 部 30,000 円/1 チーム、第 2 部 15,000 円/1 チームとする。
振込先：三井住友銀行 本店営業部 普通 9071854 「全日本実業柔道団体対抗大会事務局」
(注)参加費は参加申込と同時に上記口座に振込むこと。振込みが確認できない場合は、大会の参加は認められない。また、振込みは必ず会員(会社)名ですること。
なお、組合せ抽選終了後の参加辞退チームの参加費は返金しない。
9. 試合種目 男子の部は第 1 部・第 2 部・第 3 部、女子の部は第 1 部・第 2 部とする。
第 1 日目 6 月 5 日(土)男子の部 第 3 部、女子の部 第 1 部
第 2 日目 6 月 6 日(日)男子の部 第 1 部・第 2 部、女子の部 第 2 部
開催地東京都から特別参加として男子の部は第 3 部、女子の部は第 2 部への出場を認める。
〔男子の部〕
(1)第 1 部は 12 チーム、第 2 部は 32 チーム以内とし、それ以外を第 3 部とする。
(2)本大会の試合成績により該当チームの昇・降格を行い、次年度に出場できる各部を次により決定する。
第 1 部の 1 回戦で敗退した 4 チームは次年度第 2 部に降格する。
第 2 部の上位 4 チームは次年度第 1 部に昇格し、下位 4 チームは次年度第 3 部に降格する。
なお、下位 4 チームは 1 回戦で敗退したチームの中から抽選を行い決定する。
但し、第 2 部が 32 チームに満たない場合には、そのまま第 2 部に出場する場合がある。
第 3 部の上位 8 チームは第 2 部に昇格する。
(3)チーム編成は、第 1 部は監督 1 名・選手 7 名・計 8 名、第 2 部および第 3 部は監督 1 名・選手 5 名・補欠 2 名・計 8 名とする。
(4)第 1 部にエントリーするチームは、本要項「7. 参加申込」時点において 5 名以上の選手が揃っていないなければならない。また、第 2 部および第 3 部は、補欠を除く全員が揃っていないなければならない。
(5)試合方法は各部とも、チーム 5 名による点取り試合とする。
(6)選手配列は、第 1 部に限り試合毎に変更することができる。第 2 部・第 3 部は、参加申込以降は順位の変更を認めない。
〔女子の部〕
(1)チーム編成は、第 1 部は監督 1 名・選手 57kg 以下 3 名・70kg 以下 3 名・無差別 2 名・計 9 名、第 2 部は監督 1 名・選手 57kg 以下 1 名・70kg 以下 1 名・無差別 1 名・補欠 2 名・計 6 名とする。
(2)第 1 部にエントリーするチームは、本要項「7. 参加申込」時点において、各階級に最低 1 名以上の選手が揃っていないなければならない。また、第 2 部は補欠を除く全員が揃っていないなければならない。
(3)試合方法は、体重別に編成されたチームによる点取り試合とする。
(4)選手配列は、第 1 部は 57kg 以下 2 名、70kg 以下 2 名、無差別 1 名の 5 名とし、各体重区分の中で試合毎に自由に変更することができる。試合当日に選手が事故のため出場不可能となるか、体重区分どおりに 5 名のチーム編成が組めない場合に限り、体重区分の軽い選手が重い体重区分への出場を認める。但し、一度移動した選手は元の体重区分へ戻ること

はできない。また、無差別に登録した選手についての移動は認めない。

第2部は57kg以下1名、70kg以下1名、無差別1名の3名とし体重別に配列する。

- (5)計量〔公式計量〕平成22年6月5日(土) 7時30分から8時00分(第1部)
平成22年6月6日(日) 7時30分から8時00分(第2部)

〔計量場所〕大会会場内 女子更衣室(近的射場)

なお、両日とも7時から7時30分までを予備計量とし自由に計測することができる。

10. 試合方法

- (1)トーナメント方式で行い、各部ごとに「優勝」「準優勝」「第3位」を決定する。女子の部については参加チーム数によりリーグ戦で行なう場合がある。
- (2)チーム間の勝敗は次により決定する。
勝者数の多いチームを勝ちとする。
で同数の場合は1本勝、総合勝ち、不戦勝ち、棄権勝ち、相手の反則負けによる勝者の多いチームを勝ちとする。
で同数の場合は、「技有」、「指導3」による勝者の多いチームを勝ちとする。
で同数の場合は、任意で選出した選手による代表戦を行う。代表戦が引き分けの場合は、ゴールデンスコア方式による延長戦により、必ず勝敗を決定する。
- (3)リーグ戦における順位の決定について
チーム間の勝敗において、勝数の多いチームを上位とする。
勝数が同数の場合は負数の少ないチームを上位とする。
で同一の場合はリーグ戦中の個人の総勝数の多いチームを上位とする。
で同一の場合は負数の少ないチームを上位とする。
で同一の場合は勝数の内容により決定する。
で同数の場合は、任意で選出した選手による代表戦を行う。代表戦が引き分けの場合は、ゴールデンスコア方式による延長戦により、必ず勝敗を決定する。
- (4)試合時間は男女とも第1部は5分間、その他は4分間とする。
- (5)ゼッケンについて

布地は白色とし、苗字を上部2/3、チーム名を下部1/3に男子は黒文字、女子は赤文字で記載すること。

サイズは縦25cm~30cm、横30cm~35cm

縫い付け位置は後襟から5cm~10cm下部に縫い付けること。

- (6)女子は両面の長軸中央に約1/5幅の白線が入った帯を使用すること。

国際柔道連盟試合審判規程による。判定の基準は「有効」または「指導2」以上とする。

11. 審判規程

12. 審判員

- (1)審判員は全日本実業柔道連盟の委嘱による。

- (2)審判員会議を平成22年6月5日(土)、6日(日)両日とも8時45分~9時15分に東京武道館内大研修室にて行う。

13. 表彰

- (1)優勝チームには、優勝旗・優勝杯・賞状・賞品、第2位および第3位チームには賞状・賞品を授与する。ただし、出場参加数により変更する場合がある。

- (2)男子第1部、女子第1部の優勝チームには、厚生労働大臣杯を授与する。

- (3)優秀選手には、優秀選手賞(男子の部 各部5名、女子の部 各部3名)を授与する。

14. 抽選

平成22年4月27日(火)16時から総合警備保障(株)会議室において東日本実業柔道連盟事務局で主催者立会いのもと「大会組合せの抽選とシード基準」に則り厳正に行う。

15. 選手変更

平成22年6月4日(金)15時から16時30分まで、東京武道館内大研修室に受付場所を設ける。男子の部は登録選手以外からの変更は最大2名とする。その際、選手に欠員が出た場合は補欠員を充当し、補欠員が欠員となった時は登録外の選手を充当する。また、同一会社であっても部内外間の選手の入替は認められない。女子の部の選手変更は自由とする。

16. 練習会場

平成22年6月4日(金)、5日(土)両日とも13時から17時まで東京武道館とする。

17. 監督会議

平成22年6月4日(金)17時15分から東京武道館内大研修室において行う。

18. 開閉会式

- (1)開会式は柔道衣を着用し、全員参列すること。

- (2)表彰式・閉会式は入賞チーム及び優秀選手全員が柔道衣を着用し、参列すること。

19. 宿泊等幹旋

宿泊・交通機関・弁当(大会当日)の幹旋を希望するチームは、直接幹旋団体へ申し込むこと。

20. 傷害保険

本大会において当連盟は傷害保険(死亡、後遺障害、入院に適用)に加入する。但し、通院の補償には適用されないので各社又は各人は自己責任にて必ず傷害保険に加入すること。

以上